

ポランの びるば

発行/国立病院機構 花巻病院
025-0033 岩手県花巻市諏訪 500
TEL 0198-24-0511
FAX 0198-24-1721
発行責任者/院長 吉住 昭

主な内容

- P1……年頭にあたって
- P2-3…文化祭を開催しました
- P4……医療安全研修に参加して
- P5……ハッピークリスマス
- P6……放射線科職場紹介
- P7……ひきこもり事業の紹介・花巻フォーラム
- P8……外来一覧・かなん病棟立替工事・編集後記

年頭にあたって

院長 吉住 昭

2012年の年頭にあたり、3.11の大震災でなくなられた方、職を失った方、そして住み慣れた場所を離れ仮設住宅で不便な生活をされている方に、お悔やみとお見舞いを申し上げます。

震災から10ヶ月がたちました。震災当初より花巻病院では、様々な支援活動を行ってまいりました。そして昨年10月より釜石地区において、医師1名、コメディカルスタッフ1名の2名のチームが、毎週月・火曜日の2日間支援活動を行っています。この医師は、期限付きで被災地の支援を目的に赴任し、支援活動以外の日には、当院の通常の病院業務や当直に従事しています。幸い固定した医師やこの地のことを知っているコメディカルスタッフによる支援は、現地より高い評価をいただいています。しかし、この支援も残念ながら、期間が限られています。岩手県においては図にあるように、被災地に4ヶ所の「こころのケアセンター」を設置し、そのための人員を確保し支援を継続するとしています。病院も同じですが、何よりも人の確保が最大の課題と思われま

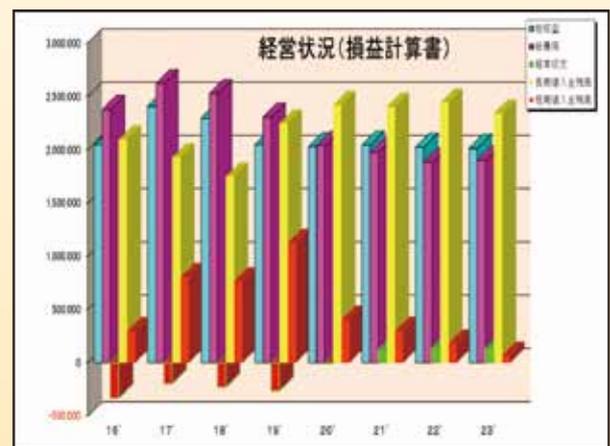
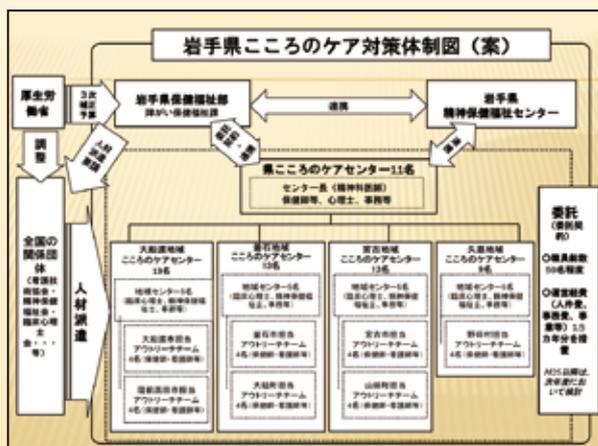
す。さて、当院ですが、職員一団となった頑張りもあり、これも図に示すように経営状況は随分改善いたしました。昨年度は約1億4千万プラスの経常収支があり、今年度も同様のプラスが見込まれています。しかし一方、未だ長期・短期あわせて25億以上の借入金があります。どこかの国のように財政破綻しないように、なお一層の経営努力が必要となります。本年8月には慢性期の患者中心のかなん病棟が新築されます。これで全ての病棟の新・改築は終了します。

病棟は、急性期・慢性期・重症心身障害者・医療観察病棟の4病棟で204床と5年前の318床からスリム化しました。各病棟の機能強化と急性期病棟との役割分担もますます重要となってきます。



最後になりますが、精神科疾患が5疾病5事業として加えられるようになりました。これは、①精神疾患は、08年調査で患者数が323万人と、癌の152万人の2倍に達し、現行4疾病で最も多い糖尿病の237万人をも上回ります。特に近年は、職場におけるうつ病、高齢化による認知症の増加など、国民に広く関わる疾患となっています。また、精神疾患による死亡は年間1.1万人で、さらに、年間3万人に上る自殺者の9割が、何らかの精神疾患を患っていた可能性もあり、緊急性も高いと言えます。③医療提供の観点では、地域の精神科をはじめとする病院、診療所、訪問看護ステーションなどが、個々の機能に応じた連携を推進することが求められているなどのことから、5疾病として取り上げられるにいたったものです。5疾病に加えられる今こそ、さらに精神科の重要性を訴えていく大きなチャンスと思います。

様々な動きはありつつも、被災地にこころを寄せ、日々の病院業務をこなしていく、そんな一年としたいものです。本年も宜しく願いいたします。





文化祭を開

去る 11月3日の文化の日に、平成 23年度国立病院機構花巻病院文化祭を開催しました。

演奏や踊り、アロマハンドマッサージやお茶会の他、バザーに作品展示や出展と、盛りだくさんの内容でした。

また当日は天候にも恵まれ、例年以上の盛り上がりを見せました。ご多忙のところ、多数の方のご来場ありがとうございました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

文化祭実行委員会委員長 第一精神科医師
有田 編理



今年もデイケアでは市内のあるケーキ屋さんの美味しいシュークリームとケーキを販売。毎年恒例のお食事処のうどん、そばも大好評。おかげさまでいずれも完売でした。皆様ありがとうございました。他にもデイケアメンバーが文化祭に向けてコツコツと日々の活動で制作した手作り塗り絵カレンダー、パッチワーク鍋敷きなど、多くの作品も展示販売することができ、メンバースタッフ一同大満足の文化祭でした。

来年も是非、皆様のご来店をお待ちしております(笑) 文化祭では、日常のデイケア活動ではなかなか見られないメンバーの店員としての潜在能力が発揮される場面もあり、スタッフとしては大助かりの一日となりました。

医療社会事業専門員
土田 滋



催しました



文化祭企画 アロマハンドマッサージの取り組み ～ 10 分間から生まれる絆～

平成 23 年 11 月 3 日（木）に行われた文化祭において副看護師長会では、来院者との心の交流・リラクゼーション・病院PRを目的としたアロマハンドマッサージを実施しました。副看護師長会では、平成 21 年度より「看護の日」のイベントを中心として、精神科病院としての当院の役割を地域に発信し、同時に地域住民へのアロマセラピーを用いたリラクゼーションを提供してきました。今回は院内イベントである文化祭において「10分間から生まれる絆」をテーマに掲げ、病院PRビデオを見て頂きながら、アロマハンドマッサージを実施しました。開催中は常に沢山の方々に参加して頂くことができ、「気持ち良かった」「話を聞いてもらってよかった」「地域に住んでいて初めて花巻病院を知ることができた」等と私達の活動を支えてくださる様々な反応を頂くことができました。アロマオイルは「オ

レンジ」「ラベンダー」「グレープフルーツ」の3種類を準備し、それぞれの効果・効能は異なりますが、好みで選んでいただき、柑橘・花の香りが立ち込めるなか、皆様にアロマセラピーによる癒しの効果を実感していただくことができました。1日を通して、患者様・外部来院者・当院スタッフを合わせ86名の方々に体験していただき、大災害の年に掲げた「絆」というテーマのもと、10分という短い時間ではありましたが、絆の種を蒔くことが出来たのではないかと感じました。今後も精神専門病院の副看護師長会として、看護の心を通して院内・地域で出来る活動を継続して行きたいと思っております。ご協力ありがとうございました

みずき病棟 副看護師長
工藤 直人



医療安全対策研修に参加して

外来看護師長 小山内千鶴子

北海道東北ブロック主催の医療安全対策研修が仙台医療センターで5日間行われました。この研修目的は医療安全に関する制度、医療安全のための組織的な取り組み、事例分析、医療事故発生時の対応など医療事故防止を中心とした研修内容でした。参加者は19名で職種は看護師長が一番多く他に薬剤師、放射線技師長、専門職で北海道からは7名の参加がありました。

研修の前半は医療安全管理者の業務の実際や医療安全のための組織的な取り組み等の講義で、他施設の取り組みの中にインシデントレポートで「確認不足」という四字熟語が出てきた時は現場に返しているという報告がありました。なぜ確認ができなかったのか、何の確認ができなかったのかを掘り下げて分析してほしいと話されており、当院のインシデントレポートにも似たような事例があると感じました。改善に結びつけるためにはインシデント事例を正しく理解する事が大切で「インシデントは改善のチャンス」自分の職場でも「確認不足」は絶対に出さないぞと思いました。

後半2日間は事例分析で時系列事象関連図の作成、問題点の抽出、背後要因を探り対策を立案しました。ここではなぜ?なぜ?を繰り返してじっくりと考える時間で、人の意見は決して批判しないことをチームのモットーにし、行き詰った時もありましたが、明るく活発なチームで楽しく取り組むことができました。

当院のインシデントは同じような事例が繰り返して起こっている状況があります。特に確認不足によるインシデントが多く事実を正しく理解し、何が問題だったのか、なぜ起こったのか、どのようにして起こったのかを知り、決められた対策は正しく実施出来るようなシステム作りが必要だと思いました。スタッフ一人一人がリスク感性と危機意識を持って、医療の安全と質の向上のために取り組んでいきましょう。





ハッピー クリスマス!!

保育士 佐藤 桃子

12月20日(火)わかば病棟にてクリスマス会を行いました。

運動会、文化祭に続くビッグイベントということで25家族が参加し、支援学校の先生方も来て下さいました。

はじめに12月生まれの4名のお誕生者をお祝いし、その後トナカイやサンタの帽子をかぶってクリスマスソングを歌いました。ジングルベルの替え歌“尻のちから”は、とてもユニークな歌詞とリズムカルなテンポで初めて聞いた方がほとんどだったとは思いますが、歌に合わせて楽器を鳴らしみんなで楽しみました。

患者様による劇「七匹の子ヤギ」は、ほとんどがぶっつけ本番でしたが大成功でした。可愛らしいヤギとオオカミの変装が見所で、全員が劇に見入っていました。

クリスマス会も終盤、さらに盛り上げていただいたのが金澤事務長による迫力あるサックス演奏でした。アップテンポな曲は自然と手拍子が起こり、つい歌を口ずさんでしまい、スローテンポな曲は穏やかな気持ちにさせてくれ、感動しました。

最後に、サックスの「きよしこの夜」の演奏にのせてトナカイと共にサンタさんがわかば病棟に来てくれました。もらったプレゼントを両手で大事そうに抱える姿、喜ぶ顔が印象的でした。

患者様、ご家族、学校の先生方、病棟スタッフみんなで盛り上げ、楽しむことのできた素敵なクリスマス会だったと思います。



劇「七匹の子やぎ」の一場面



サンタさんからのプレゼント

放射線部門のご紹介

副診療放射線技師長 杉田 章

<放射線検査について>

当院では放射線の種類の一つである X 線のみを利用しています。X 線とは電磁波の仲間ですが紫外線や赤外線と同じですが、その波長の短いものを X 線としています。

X 線を人体に照射すると、臓器や骨などの部分による硬さや厚さ、空気などに応じて通り具合が異なり、その透過した X 線を可視光に変えて肉眼で観察しています。

<保有機器について>

- 一般撮影装置
- 歯科用デンタル装置
- 歯科用パノラマ装置
- 回診用（移動型）撮影装置
- X 線テレビ（胃のバリウム検査など）装置
- マルチスライスコンピュータ断層撮影装置（MDCT：体を輪切りに写し出す）
- 超電導 核磁気共鳴断層装置（MRI）

MDCT



肺の画像

MRI



脳血管画像

<放射線業務について>

診療放射線技師はこれらの機器を使用して撮影・検査を行う技師ですが、放射性物質や放射線発生装置などに対する施設管理・ヒトへの被ばく管理をする専門技師でもあります。放射線の物理学的・生物学的知識を理解し検査を行っていますのでご安心ください。

ちょっとした放射線の疑問にもお答えしますので、顔を見かけたらお気軽に声をかけてください。

ひきこもり事業のご紹介

岩手県中部保健所

中部保健所では、ひきこもりの若者・そのご家族を対象にさまざまな事業を行っています。

<ひきこもり家族相談会>

日時：毎月第3金曜日 13:30～16:00

場所：中部保健所

内容：よいこと探し（1ヶ月間のよいことを見つける時間です）

相談会（参加者のその日の相談を心理教育技法で話し合います）

他に年1回研修旅行などの楽しいプログラムも。

<ひきこもり若者居場所>

日時：毎月第1・3木曜日 10:00～13:00

場所：花巻市内 花北振興センターなど

内容：気楽なおしゃべり、季節の行事、スポーツなど

若者（花巻市内在住）が主体的に運営しています。

ほかにも、医師による相談、保健師の家庭訪問など行っています。
お問い合わせ：中部保健所（花巻市花城町 1-41 電話 0198-22-2331）

花巻フォーラムのお知らせ

第19回 花巻フォーラム

～みんなの心にともしびを～

平成24年3月2日(金)13:00～17:00

国立病院機構 花巻病院 大会議室

第Ⅰ部 研究発表

第Ⅱ部 震災対応とこれから～震災から一年をへて～

特別講演

「避難所ナースングノート作成のいきさつと
今後の支援に期待すること」

講師 国立病院機構 釜石病院院長 土肥守先生

皆様のご来場を心よりお待ちしております。

外来診療担当表

【精神科】

平成 24 年 1 月 4 日

診察室／曜日	月	火	水	木	金
第1診察室	櫻井	石丸	予約の方のみ診察	吉住	堀田(洋)
第2診察室	第2・4週 永田	堀田(理)		有田	支援医師
第3診察室	渡邊	中嶋		佐藤	中嶋
第4診察室	河上	伊東		河上	伊東
第5診察室		第3・5週 大島			

※毎週水曜日は休診となります。

※水曜日の新患は、事前に予約された方に限ります。また、デイケア、作業療法は平常どおり行います。

〈かなん病棟建替工事について〉

当院では現在、かなん病棟建替工事を行っています。

8月末の完成を目指しており、皆様方にはご不便とご迷惑をおかけしておりますが、ご理解とご協力の程、よろしくお願いいたします。

〈編集後記〉

明けましておめでとうございます。

昨年は東日本大震災や自然災害が相次ぎ、冒頭の言葉を使うのをためらいました。しかしながら新たな年を迎え、今年一年が皆様にとって、夢や希望に満ちあふれた明るい年になりますように、という願いを込めてご挨拶させていただきました。

今冬は例年以上に寒い日が続いており、長引く風邪も流行していると聞いておりますので、お体に気をつけてお過ごし下さい。

本年も「花巻病院」並びに「ポランのひろば」をよろしくお願いいたします。

(ご)

ホームページもご覧ください <http://www.nho-hanamaki.jp/>

